やまびこだより
No.139

平成28年1月20日発行〈昭和51年12月1日発刊〉

中学生ボランティア新聞

社会福祉法人 ふれあいネットワーク
長野県社会福祉協議会

特集テーマ

私たちの思いをまちづくりに

私たちの地域をより良くしたいから…

まちの議会で提言しました！

県内各地の市町村では、子どもの視点でまちづくりへの提案を行う「子ども議会」（中学生議会）を開いています。

中学生議員はどんな提案をしたのかな？

参加した中学生の感想は？

信濃町 子ども模擬議会

信濃町立 信濃町小中学校 9年生

「ふるさと学習」の成果を提案！

「ふるさと学習」で町の課題を調べ、魅力ある町にするための案を考えて、代表6班が一般質問で発表しました。

まとめた案を信濃町議会議事堂で発表

ふるさとのために取り組みたい課題を、

①信濃町のことをPR しよう
②町の観光産業を発展させよう
③町の自然を守り活用しよう
④町の施設を有効利用しよう
⑤町の特産物を使った名物を作ろう
⑥ボランティア活動を広げよう

調べて、聞いて、見学してみよう

こんな提言をしました！

- 宅地を造成し、定住者を
- 商店街の活性化を！
- 仮想姉妹都市と提携を！
- 信濃町の特産物で使った名物を！
- 旧小学校を図書館に！

仮想姉妹都市と提携し町の知名度を上げれば、観光客が増え、移住者も増えるのでは……

特産物で町を有名にし人を呼び込もう

商品化が決定しました！

信濃町に対する見方が他人事（ひとごと）ではなく、自分のまちとして何をどう改善したらいいのかと考えるようになりました。

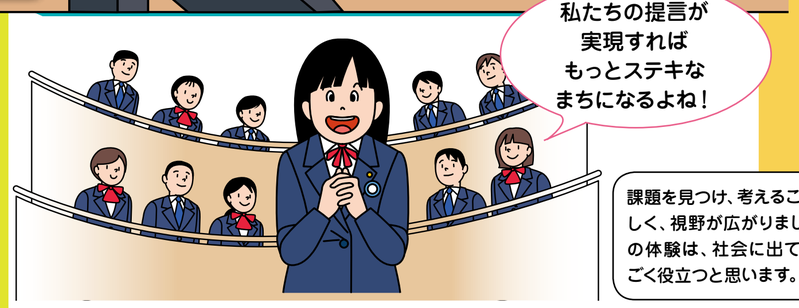
熊川亜優さん

北村竜也くん

提案にあたり、他町村の取り組みも調べ、自分たちの取り組むべき課題が分かってきました。

笠原芽生さん

町長さんらは、私たち中学生の意見をしっかり聞いて答弁してくださり、うれしかったです。



安曇野市 中学生議会

市長・市の職員の方々と記念撮影

安曇野市内の中学校７校
穂高東・穂高西・三郷・堀金・豊科北・豊科南・明科 中学校 代表25名

安曇野市では３年前から毎年、中学生の考えを協働のまちづくりに生かすため、「中学生議会」を開催しています。

テーマごとにまちづくりを学ぶ

市内の中学校代表25名が、５つのグループに分かれ、テーマに合わせて安曇野市の現状や今後について学び、本議会で提言しました。

①福祉グループ
②安全・安心グループ
③産業グループ
④教育グループ
⑤まちづくりグループ

こんな提言をしました！

- 児童虐待や高齢者の孤立化を防ぐための交流施設の整備を！
- 森林保全を観光客にも PR する
- 特産のワサビで産業振興を！
- 子どもの学習支援の場を！

議長を務めた 横川伊吹さん（豊科南中）

課題を見つけ、考えることが楽しく、視野が広がりました。この体験は、社会に出てからすごく役立つと思います。

自分の意見を相手に伝える良い経験になりました。皆さんも機会があれば、ぜひ参加をして下さい！

副議長を務めた 古市恭介くん（豊科南中）

高山村 中学生議会

高山村立高山中学校 全校生徒

フィールドワーク

中学校の体育館が議場です。

全校生徒が議員となり、高山村の未来に向けて直接意見や要望ができる場です。授業のフィールドワークで学んだことを話し合い、学年ごとに議会で提案。平成10年からほぼ毎年開かれています。

提案で実現したさくら街道です。

佐久市 子ども議会

佐久市内の小・中学校 代表各1名

学校給食応援団との給食交流会

さつまいも講習会

僕たちの意見が実現しました！

平成24年の子ども議会で出された「学校給食の献立表を使って生産者を紹介し、PRする」という意見が実現しました。「学校給食応援団」が発足し、毎日の給食に安全で美味しい地元農産物を提供し、活躍しています。

若い人たちならではの貴重なご提言をありがとうございます。

これからのまちづくりにぜひ活かします。

僕らの手で大好きなふるさとの未来を変えよう！

各校のボランティア・地域活動の紹介

私たちの学校では、こんな活動をしています。

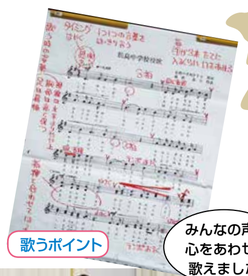
松本市立 松島中学校

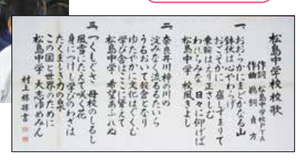
地域の方の熱い思いを受け継いで

「校歌コンクール」の取り組みから

校歌コンクール本番

ただいま練習中


歌うポイント



表彰式

昭和33年４月、新校舎とともに、松島中学校はスタートしました。その後、校歌制定の機運が高まる中、「校歌は自然に生まれたものであってほしい」という願いから、３年後、全国でもまれな PTA 作詞の校歌が誕生しました。それから約60年、今では、世代を超えて歌うことができる校歌となっています。

そして平成24年４月、「私たち中学生だけでなく、いろいろな方と一緒に松島中学校の校歌を歌いたい」――そんな思いから校歌コンクールは始まりました。

コンクールに向けてクラスごとに目標を決め、「優秀賞」を目指し、朝・帰りの学活などの時間を利用して毎日歌います。練習を重ねる中で、クラスの団結力が高まり、「校歌を大切にしたい」という思いもさらに強くなっていきました。

５月の本番では、地域の方を審査員として招き、私たちの頑張りの姿を伝えることができました。最後は世代を超えてみんなの心が一つになりました。

地域の方々にも聞いていただきました。

これからも、校歌に込められた松島中学校の先輩方、地域の方、保護者の方の熱い思いを受け継いでいきたいです。

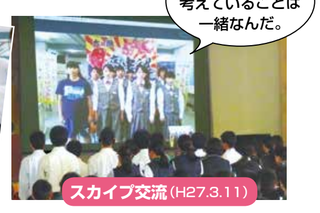
伊那市立 東部中学校

さくらプロジェクト

被災した仙台市立高砂（たかさご）中学校との交流

高砂中からの贈り物

「絆宣言」を表明（H25）



スカイプ交流（H27.3.11）

- 笑顔を取り戻すきっかけをつくってくれて、本当に感謝しています。
- 地域の方々も元気にしてくれた桜は、これからもみんなを励ましてくれると思う。（高砂中の生徒より）

東部中学校は、東日本大震災の被災地である宮城県仙台市立高砂中学校と「さくらプロジェクト」という交流活動をしています。

津波の塩害により校庭の桜２本が枯れてしまった高砂中に、東部中から伊那市高遠の門外不出のタカトオコヒガンザクラを２本贈ったことから両校の交流はスタートしました。

高砂中に植樹された２本の桜は「未来（みち）」・「希望（あかり）」と名付けられ、長野県から遠く離れた仙台の地において大切に育てられ、昨年４月にはたくさんの花を咲かせました。

平成25年度には東部中の文化祭「すず竹祭」に高砂中の生徒会の皆さんが参加してくれました。両校の生徒会長が末永い交流を誓い合う、「絆宣言」を声高らかに表明しました。

仙台の兄弟桜

平成26年度、東部中の校門に仙台の兄弟桜「輝（ひかり）」「虹（かけはし）」が植樹され、27年度には両校の生徒会役員がそれぞれお互いの学校を訪問しました。直接、語り合える交流はとても充実したものになり、尊敬と感動を共有できる貴重なひとときとなりました。

平成28年度は両校で、さくらプロジェクトのテーマソングを作っていきます。

あの震災（しんさい）を忘（わす）れないで

宮城県（石巻市・東松島市・女川町）

東日本大震災の被災地と諏訪市の子どもたちとの交流

虹のかけ橋プロジェクト

諏訪市内の小・中・高校生が被災地訪問

東松島市の被災跡地を訪問

石巻市の長面浦（ながつらうら）～大川小学校を訪問

諏訪市の小・中学生は、平成25年３月から、東日本大震災の被災地の子どもたちと互いに訪問し合い、交流を続けています。

BOSAI ミライ交流 in SUWA

被災地の子どもたちを諏訪に招待

被災した方から話を聴きました

被災地の子どもたちと霧ヶ峰高原で

参加した小・中学生の感想

東日本大震災を未来に伝えていくために、私たちも知って、伝えて、もっと勉強することが大事なんだと思いました。

子どもの笑顔はみんなの力になる。そして、大人には大人の、子どもには子どもの「力」があると思う。

今、私たちが思っている当たり前は全然当たり前ではない。家があり、家族がいて、一緒に学べる仲間・友だちがいることに感謝していきたい。

18歳までの子どもがかける「子ども専用の電話」

チャイルドライン

フリーダイヤル 0120-99-7777

困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。

★ちょっといいにくいことでも、名前は言わなくていいので安心して話してください。

★お説教はしません。どんなことでも、いっしょに考えます。

みんなにカードが届くよ。フリーダイヤルでかけてね！

チャイルドラインは皆さんの赤い羽根共同募金が役立てられています。

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう！

どこにあるかわからないひとはこちらまで！

●発行／お問い合わせ●

社会福祉法人 ふれあいネットワーク
長野県社会福祉協議会
〒380-0928 長野市若里7-1-7　県社会福祉総合センター内
TEL.026-226-1882　FAX.026-228-0130
電子メール　vcenter@nsyakyo.or.jp
ホームページ　http://www.nsyakyo.or.jp

公益社団法人 信濃教育会
〒380-0846 長野市旭町1098　TEL.026-232-6994
ホームページ　http://www.shinkyo.or.jp/

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDF ファイルとしてダウンロードできます。どうぞご利用ください。
http://www.nsyakyo.or.jp

この新聞の発行には、皆さんの赤い羽根共同募金が役立てられています。